

環境報告書 2003年1月期



# 鳥からみた庭

表紙のイラストは、シジュウカラが緑あふれる家の庭を眺めている様子を描いています。 積水ハウスは、人間だけでなく、野鳥や蝶などの小さな生き物にとっても居心地のよい 自然の豊かな庭づくり「ビオガーデン~5本の樹計画~」に取り組んでいます。

地域の自生・在来種の樹木を庭に植えることで、その恵みで生きる鳥を養い、また鳥が 種子を運ぶことで、さらに地域の自然を育んでいく・・・。鳥や蝶が集うビオガーデンが、街 の中の小さな自然同士を結ぶ生態系の拠点となるようにとの願いを込めています。

# **ECO WORKS** 2003

# 編集方針

本報告書『ECO WORKS 2003』は、環境省の「環境報告書ガイ ドライン(2000年度版)」とGRI(Global Reporting Initiative) の「持続可能性報告のガイドライン(2002年版)」を参考に作成し ました。各種の環境負荷については、工場での生産活動におけるデー タを中心に報告しています。また、住宅の建設・解体時における環境 負荷の調査や低減活動に関するデータも一部掲載しています。

#### 『ECO WORKS 2003』での主な改善点

- ・積水ハウスがめざす持続可能な社会へのビジョンと、それを実現す るための環境シナリオおよび行動推進体制を新たに掲載しています。
- ・住宅事業と環境への関わりについて、マテリアルフローで示すとと もに、自社グループ体制のページを設け、当社の特徴である、住宅 のライフサイクルを通した環境負荷低減活動を紹介しています。
- ・「顔の見える」報告書をめざし、従業員の日常業務における環境へ の関わりのインタビューや座談会、お客様や識者からのコメントを 掲載しています。
- ・積水ハウスと従業員の関わり、また地域社会への関わりのページを 新たに設けました。

#### 対象範囲

#### 【事業所の対象範囲】

本報告書における事業所の対象範囲は、積水ハウス株式会社と当 社の環境経営上重要な連結子会社である積和建設(株)各社(71社)、 ランドテック積和(株)各社(3社)、グリーンテクノ積和(株)各社(4社)、 積水ハウス梅田オペレーション(株)を含めて80社とします。(積水 ハウスグループの概要は42ページをご参照ください)

#### 【事業内容の対象範囲】

当社の事業は、大きく戸建住宅事業、賃貸用集合住宅事業、分譲マ ンション事業、商業施設などの特建事業に区分されますが、本報告書 においては、このうち、戸建住宅事業と賃貸用集合住宅事業をもって「住 宅事業」として報告しています。

#### 対象期間

本報告書の対象期間は2002年度としています。これは当社の会計 年度である2002年2月~2003年1月を指します。

### 次回発行予定

次回の環境報告書発行予定は2004年4月頃です。

## 環境報告書に関するお問い合わせ先

積水ハウス株式会社 環境推進部 TEL.06-6440-3374 ホームページ http://www.sekisuihouse.co.ip/

# 目次

目次と編集方針2
トップメッセージ3
積水ハウスのビジョン5
ビジョンを実現する環境シナリオと行動推進体制7
環境目標と実績 9
積水ハウスの住宅事業と環境の関わり11
ライフサイクルで環境負荷を低減 13
持続可能な社会の構築に向けて
環境に配慮した住まいづくり 15
CO <sub>2</sub> 削減 ······ 17
廃棄物削減19
健康的な生活に貢献する住まいづくり23
有害物質削減25
生涯にわたる快適な住まいづくり27
ライフサポート・・・・・・29
生涯住宅思想31
安心·安全 ······32
自然と調和する住まい 33
街づくり34
サイトレポート 35
生産部門の環境会計38
従業員との関わり39
特集:開発に携わる社員による座談会40
地域社会との関わり41
会社概要42